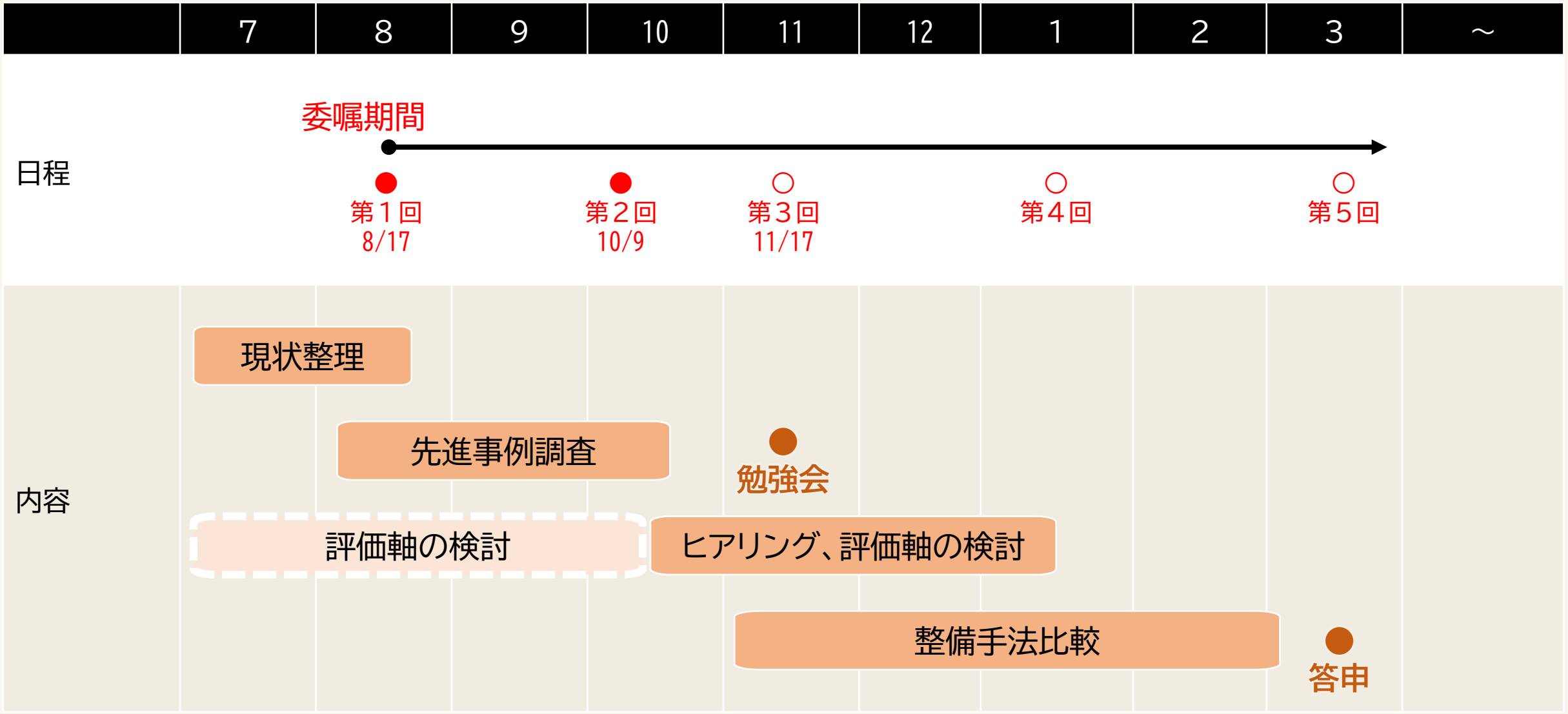
資料１

第３回
新庁舎等整備手法検討会議
（本庁舎等整備委員会）

議題2
今後の進め方について

令和８年11月17日

全体スケジュール_令和８年度（案）



評価軸（判断フレーム）一覧（たたき台）

評価軸 （判断フレーム）	判断基準の深堀り
市民にとっての価値 （行政サービスの利便性向上）	• 多世代における複合価値の創出 • 市民サービスDXと快適な利用環境 • 建設費の支払平準化、VFMの創出
都市拠点としての価値、まちの魅力向上 （ウェルネスの牽引）	• 都市拠点の連携 • 地域全体の回遊性・循環 • 市民にとって魅力的な施設の整備
防災・災害対応 （強靭なレジリエンス拠点）	• 災害への強靭性 • 民間事業者と連携した迅速な災害対応
民間メリット （事業持続性）	• 独立採算の確保 • 投資インセンティブと超過利益還元
経済効果 （波及する地域振興、税収増）	• イベント開催によるまちの賑わいの創出 • 周辺住民の人口増加 • 商業施設・事務所等の新規立地

分野別一覧（ヒアリング予定）案

＊ 庁舎機能と組み合わせ可能な分野へのヒアリングを実施

「庁舎機能」×「〇〇機能」

例示）

- 商業系（宿泊施設、商業施設など）
- 教育・福祉系（教育施設、ウェルネス関連施設など）
- スポーツ・文化系（アリーナ、スタジアム、文化ホールなど）

次回（第４回）のテーマ案

＊ テーマ：
- 事業手法の選定に向けた評価軸（判断フレーム）の検討、決定。

＊ 検討内容、論点：
- 各分野別のヒアリング結果から、公民連携手法による整備の可能性を把握する。
- 評価軸（判断フレーム）の妥当性について議論し、決定する。